



日光だいや川公園

NIKKO DAIYAGAWA PARK

ヤマユリマップ

ヤマユリ・ユリの園芸品種
あわせて約7000本！

公園内を巡って、
ヤマユリやユリの仲間たちを探しに行ってみましょう。



日光だいや川公園 ユリとその仲間たち

※時期や気候によって、見られない種類もあります。

ヤマユリ（山百合）	ユリ科ユリ属
場所	● 緑の相談所東側周辺 ● くるみの森周辺 林内各所 ● 県道248号線道路沿い 園内7000本以上
特徴	日本特産。オリエンタル系の数々の品種の親となったユリの女王。地中の鱗茎（百合根）は食用になる。茎先に咲く花は強い芳香がある。花弁は6枚に見えるが、外側の3枚は萼（がく）が変形したもの、内側の3枚が本来の花弁。白地の中に太い黄色い筋と赤い斑点がある。

ウバユリ（姥百合）	ユリ科ウバユリ属
場所	● 緑の相談所東側周辺 ● くるみの森 ● 体験農場西側 北の流れ
特徴	テッポウユリのような花。 花は茎の上部に数個横向きにつく。 長さ7～10cmで芳香があり、茎の途中にまとまってつく。

チゴユリ（稚児百合）	イヌサフラン科チゴユリ属
場所	● ふるさとの森 ● 出会いの散歩道 ● くるみの森周辺
特徴	茎は高さ15～30cmで、枝分かれしない。 葉は長楕円形で長さ4～7cm、幅1.5～3.5cm。 春、茎に1～2個の花を垂れてつける。 花びらは白色で長さ1～1.5cm。花の後に黒い液果（実）をつける。 ※以前はユリ科に分類されていた

スカシユリ（透百合） 系品種	ユリ科ユリ属
場所	● やすらぎの池東 ● ふるさとの森 ● そよ風広場南
特徴	多くは上向きに花が咲く。鮮やかな黄色やオレンジなどカラフルな花色。 アジアンティック・ハイブリッドと呼ばれ、ユリの中では丈夫で育てやすい。

ヤブカンゾウ（薺萱草）	ワスレグサ科ワスレグサ属
場所	● 西駐車場東側エリア ● 体験館東側エリア ● 公園西側線路沿い東
特徴	古い時代に中国から渡来したと考えられている。 花は八重咲き。 直立した花茎の先で分岐し、径約8cmの橙赤色の花が数個つく。 ※以前はユリ科に分類されていた

ヤブラン（薺蘭）	キジカクシ科ヤブラン属
場所	● 駐車場南西側 ● チョウの丘北側東屋付近
特徴	多年草。細長い葉で、花は淡紫色の楕円形で茎に多数つく。 花の後は黒い実をつける。 ※以前はユリ科に分類されていた

ニッコウキスゲ（日光黄菅）	ワスレグサ科ワスレグサ属
場所	● ニュースポーツ広場北 ● チョウの丘北側東屋付近
特徴	山地などに生える多年草。 日光地方に多いということからその名がついた。 花は朝開花して夕方しぼむ一日花。ただし花は次々と咲く。 別名：禅庭花（ゼンテイカ） ※以前はユリ科に分類されていた

ナルコユリ（鳴子百合）	キジカクシ科アマドコロ属
場所	● 体験農場西側
特徴	5～6月ごろ、筒状の淡緑白花を2、3個つける。 太い地下茎を横たえ、年ごとに節をつくる。 花の後、紫黒色の実をつける。 ※以前はユリ科に分類されていた



環境保護へのご協力
ありがとうございます。